

永田クラブ
経済研究会
消費者問題研究会
厚生労働省記者クラブ
農林水産省記者クラブへ貼り出し

公開

令和元年7月1日
内閣府食品安全委員会事務局

食品安全委員会が自ら行う食品の安全性に関する食品健康影響評価の対象案件候補の募集について

食品安全委員会では、リスク管理機関からの要請がない場合でも、国民の健康への影響が大きいと考えられるもの等について、自らの判断により食品の安全性に関するリスク評価を行っているところです。

令和元年度の案件の選定に当たり、別紙のとおり広く国民の皆様から案件候補を募集いたしますので、お知らせいたします。

【本件連絡先】

食品安全委員会事務局
情報・勧告広報課 石川、神山
電話：03-6234-1124、1125

食品安全委員会について (<http://www.fsc.go.jp/>)

食品安全委員会（委員長：佐藤洋（さとう・ひろし））は、食品中に含まれる農薬や食品添加物などが健康に及ぼす影響を科学的に評価する機関（リスク評価機関）。7名の委員で構成され、12の専門調査会及びワーキンググループにおいて、約250名の専門委員の協力により、企画等、添加物、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、プリオン、かび毒・自然毒等、遺伝子組換え食品等、新開発食品、肥料・飼料等の分野のリスク評価等を行っています。

令和元年度「自ら評価」案件候補の外部募集 (ホームページによる公募) について

令和元年7月1日
内閣府食品安全委員会事務局

提案募集 食品安全委員会が自ら行う食品の安全性に関する食品健康影響評価の 案件候補を募集します

1. 概要

食品安全委員会では、厚生労働省、農林水産省等の「リスク管理機関」からの要請により行う食品健康影響評価(注1)に加え、案件を食品安全委員会自らが選定して行う食品健康影響評価(「自ら評価」)を行っています。

(注1) 新たな食品添加物を指定する、残留農薬等の規格・基準を設定する等の場合に行う、食品に含まれる様々な物質、生物を摂取することなどによる人の健康への影響に関する、科学的知見に基づく評価。

食品安全委員会では、今年度も「自ら評価」の案件を選定するに当たり、広く皆様から案件候補の募集を行うことといたしました。

皆様方におかれましては、日々の食生活等を通じ、食品健康影響評価の実施が必要と考えられる食品やこれに含まれる物質、生物等のハザード(危害要因)がございましたら、積極的に御提案ください。

<参考1> これまでに食品安全委員会が「自ら評価」案件として選定したもの。

「アレルギー物質を含む食品」(平成27年度)

「フモニシン」(平成26年度)

「クドア(クドア属粘液胞子虫)」(平成24年度)

「加熱時に生じるアクリルアミド」(平成22年度)

それ以前の案件も含めて、ホームページに掲載しています。

http://www.fsc.go.jp/hyouka/mizukara/mizukara_index.html

また、食品安全委員会での審議の結果、「自ら評価」案件としては選定されなかったものでも、リスクプロファイル(注1)やファクトシート(注2)を作成する案件、情報収集・情報提供を行う案件等とされる場合もありますので、積極的に御提案ください。

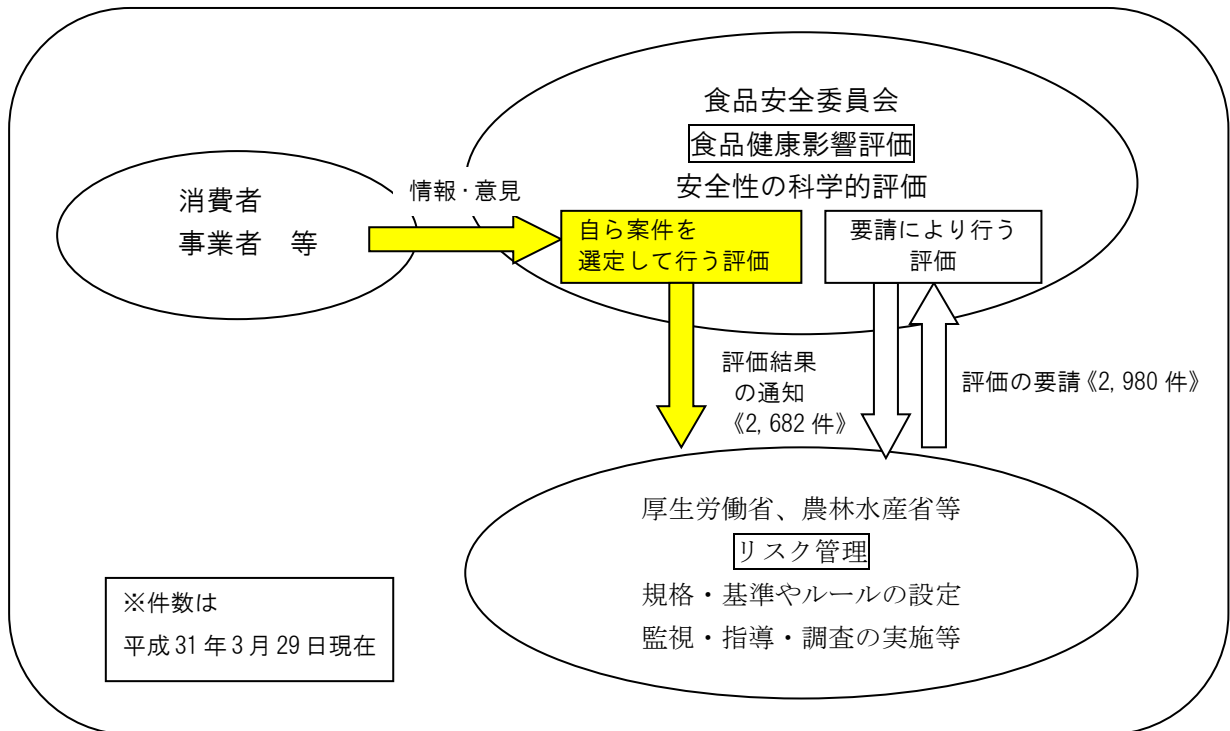
(注1) 食品健康影響評価の基礎となるもので、ハザードの特性、現状の問題点、講じる対策など科学的な情報をまとめた資料。

(注2) ハザードごとに国際機関や国内外のリスク評価機関が公表した評価結果、最新の研究成果及びリスク管理措置等の情報を収集・整理した、科学的知見に基づく概要書。

<参考2> 「自ら評価」案件としては選定されなかったものの、積極的に情報収集・情報提供を行う案件とされたもの。

「魚・魚加工品中のヒスタミン」(平成30年度)
「カフェイン」(平成28年度)
「人工甘味料」「クルクミン」「ジャーサラダ」(平成27年度)

<参考3>食品の安全性に関する食品健康影響評価の仕組み



2. 「自ら評価」の案件候補の要件

「自ら評価」の案件候補については、以下に掲げる要件のいずれかに該当する必要があります(詳細は別添を御覧ください。)

- (1) 健康被害の発生が確認されており、これに適切に対応するためには、食品健康影響評価の実施の必要性が高いと判断されること
- (2) 健康被害の発生が明確に確認されていないが、今後、その発生のおそれがあり、これに適切に対応するためには、食品健康影響評価の実施の必要性が高いと判断されること

また、選定に当たっては、上記に加え、国民の評価ニーズ、科学的知見の充足状況にも配慮します。

御提案に当たっては、案件候補名を具体的に記載してください。また、それらが選定基準に該当することを説明する情報を併せてお送りください。

これらの情報については、例えば、次に掲げる情報が考えられます。

- ・食品による健康被害発生又はそのおそれを示唆する情報
- ・危害要因がどのような食品にどの程度含まれているか、人がどの程度摂取しているか等に関する情報
- ・危害要因が含まれている食品の流通状況に関する情報
- ・国内外での食品健康影響評価及びリスク管理の状況に関する情報
- ・公表されている研究・調査の報告書、学術論文等があれば、その報告書の名称、論文表題掲載紙の名称・刊号等に関する情報

なお、これまでは、「現在評価中又は評価済みのもの」、「食品の問題ではないもの（環境汚染物質等）」、「リスク評価の問題ではないもの（表示、監視・指導等の制度や、摂取様態・使用方法に関するもの）」と判断されたハザード又は個別の食品（Aという会社のBという商品名等）は、原則として採用されていません。

3. 案件候補の提出方法

電子メール、ファクシミリ又は郵送のうちいずれかの方法で次の事項を記入の上、提出してください。電話による御連絡は御遠慮ください。

なお、提出いただいた内容について、詳細を確認させていただく場合がありますので連絡先は必ず記入ください。

（1）記入事項

- 【1】案件候補名 【2】案件候補とする理由 【3】案件候補とする情報等
- 【4】氏名（法人の場合は法人名・部署名等） 【5】職業（個人の場合のみ）
- 【6】連絡先（電話番号、電子メールアドレス等）

（2）宛先

内閣府食品安全委員会事務局情報・勧告広報課内

「『自ら評価』の案件候補の募集」募集担当 宛

- 電子メールの場合：食品安全委員会ホームページの下記 URL から送信可能です。

<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-0956.html>

- ファクシミリの場合：03-3584-7392

- 郵送の場合：〒107-6122 東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル 22 階

なお、ファクシミリでお送りいただく場合には、表題を「『自ら評価』の案件候補の募集」としていただきますよう、また、郵送の場合は、封筒表面に同様の朱書きをしていただきますよう、お願いいたします。

（3）締め切り

令和元年7月30日（火）（必着）

（4）提出上の留意事項

- 提出していただく情報は、日本語によるものに限らせていただきます。
- 個人は、氏名・住所・職業・電話番号を、法人は法人名・所在地・電話番号を記載してください。なお、これらは、必要に応じ当方からお問合せをさせていただきます場合や意見・情報がどのような立場からのものかを確認させていただく場合のためにお尋ねしております。
- 提出していただく情報につきまして個別に回答いたしかねますことを御了承願います。
- 電子メールにより提出いただく場合、文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。
- 文字数制限500文字です。超過する場合には、分割して送信をしてください。

【本件連絡先】

内閣府食品安全委員会事務局
情報・勧告広報課 石川・神山
電話：03-6234-1124, 1125

(別添)

企画等専門調査会における食品安全委員会が自ら行う
食品健康影響評価対象候補の選定の考え方
(平成16年6月17日食品安全委員会決定)

最終改正：平成25年7月8日

企画等専門調査会は、以下に掲げる選定基準に該当するものの中から、国民の健康への影響の程度に照らして食品健康影響評価の実施の優先度が高いと考えられるものを食品健康影響評価対象候補（以下「案件候補」という。）として選定し、食品安全委員会に報告する。

当該選定に当たっては、国民の評価ニーズ、科学的知見の充足状況にも配慮するものとする。

案件候補の選定基準

次に掲げる要件のいずれかに該当するもの

- (1) 健康被害の発生が確認されており、これに適切に対応するためには、食品健康影響評価の実施の必要性が高いと判断されること。

- (2) 健康被害の発生が明確に確認されていないが、今後、その発生のおそれがあり、これに適切に対応するためには、食品健康影響評価の実施の必要性が高いと判断されること。